

子ども・夢・アートアカデミー



7月11日（金）、文化庁主催事業「子ども・夢・アートアカデミー」より、日本芸術院会員で日本画家の伊藤髭耳（いとうぼうじ）先生をお迎えして美術の授業が行われました。

伊藤先生が描いた実際の絵を鑑賞したり、「日本画」についての説明や実技指導を受けたりしました。体験活動では初めて見た「岩絵の具」を使い、生徒それぞれが、思い思いに絵を描いていました。

日本画に触れ、その良さを感じ、文化芸術を愛する心や豊かな情操を育むことができた貴重な体験でした。



○授業後 生徒の感想より

- ・岩絵の具を初めて使った。ザラザラしたりツルツルしたりする絵の具を指で溶いて筆で塗ることが分かった。
- ・先生の話から、絵を描くことが苦手でもまずは描いてみるのが大事だと思った。
- ・日本画は神秘的だと思いました。日本画は描いたり塗ったりするのが大変だけど、全部やり遂げた作品は、美しい絵になると思いました。
- ・先生の話から、西洋画は画面をすべて塗ることに對して、日本画は余白を残すことがあり、それがきれいだということを知りました。

